

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年9月8日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年9月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【工作建屋の水位計の不具合について】 当社社員が、工作建屋の水位を確認したところ、2023年8月7日頃より約10mm/日で連続的に上昇していることを確認。 現場確認の結果、水位計設置箇所周辺には水がないことから、水位計の不具合と判断。 原因は、水位計の経年劣化と推定。 水位計の交換を実施し、問題がないことを確認済み。</p>	G III	9月6日
2	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機室屋上の油捕集タンク排気口からの雨水と油が混ざった水の漏えいについて】 当社運転員が、パトロールにおいて、5号機非常用ディーゼル発電機室屋上の油捕集タンク排気口から雨水と油が混ざった水が漏えいしていることを確認。 現場確認の結果、油捕集タンクの上蓋が腐食し雨水がタンク内に流入、雨水と油が混ざった水が排気口より流出したと推定。 当該タンク内の雨水と油が混ざった水の抜き取りを実施し、漏えいが停止したことを確認。 床面に漏えいした雨水と油が混ざった水については、吸着マットによるふき取り、および当該タンクの雨水浸入防止対策を実施済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	9月4日
3	<p>【既設淡水化装置(RO3)の漏えい検出器の不具合について】 当社運転員が、既設淡水化装置(RO3)の漏えいの警報発生を確認。 現場確認の結果、動作した漏えい検出器廻りに漏えいがないことを確認。 現場環境が高湿・多湿のため、当該漏えい検出器の誤動作と推定。 検出器の交換を実施し、問題がないことを確認済み。</p>	G III	9月5日